

(19) 日本国特許庁(JP)

再公表特許(A1)

(11) 国際公開番号

WO2003/033472

発行日 平成17年2月3日(2005.2.3)

(43) 国際公開日 平成15年4月24日(2003.4.24)

(51) Int.Cl.⁷

F I

C07D 215/22

C07D 215/22

A61K 31/47

A61K 31/47

A61K 31/4709

A61K 31/4709

A61K 31/496

A61K 31/496

A61K 31/5377

A61K 31/5377

審査請求 未請求 予備審査請求 有 (全 208 頁) 最終頁に続く

出願番号 特願2003-536212(P2003-536212)
 (21) 国際出願番号 PCT/JP2002/010803
 (22) 国際出願日 平成14年10月17日(2002.10.17)
 (31) 優先権主張番号 特願2001-319826(P2001-319826)
 (32) 優先日 平成13年10月17日(2001.10.17)
 (33) 優先権主張国 日本国(JP)
 (31) 優先権主張番号 特願2002-167652(P2002-167652)
 (32) 優先日 平成14年6月7日(2002.6.7)
 (33) 優先権主張国 日本国(JP)

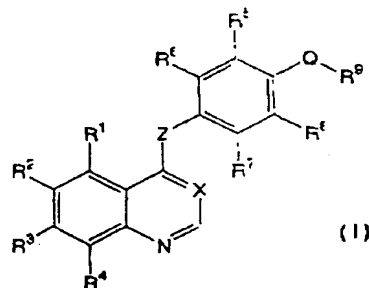
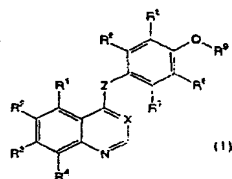
(71) 出願人 000253503
 麒麟麦酒株式会社
 東京都中央区新川二丁目10番1号
 (74) 代理人 100075812
 弁理士 吉武 賢次
 (74) 代理人 100091487
 弁理士 中村 行幸
 (74) 代理人 100094640
 弁理士 紺野 昭男
 (74) 代理人 100107342
 弁理士 横田 修孝
 (72) 発明者 三輪 篤史
 群馬県高崎市宮原町3番地 麒麟麦酒株式
 会社 医薬探索研究所内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 線維芽細胞増殖因子受容体自己リン酸化を阻害するキノリン誘導体およびキナゾリン誘導体並びにそれらを含む医薬組成物

(57) 【要約】

本発明は、FGF受容体ファミリーの自己リン酸化の阻害作用を有し、かつ経口投与または静脈内投与で癌細胞の増殖を抑制する新規化合物の提供をその目的とする。本発明による化合物は、式(1)の化合物またはその薬学上許容される塩または溶媒和物。



(式中、XはCHまたはNであり、ZはOまたはSであり、QはNR¹⁰、CR¹¹R¹²、カルボニル、O、S(=O)_m(mは0~2)またはウレアであり、R¹~³はそれぞれH、OH、ハロゲン、ニトロ、アミノ、アルキルまたはアルコキシ等(アルキルおよびアルコキシは更に置換されていてもよい)であり、R⁴はHであり、R⁵~⁸はそれぞれH、ハロゲン、アルキルまたは